

特集1

大雨・豪雨の「もしも」に備える

問合せ 区 市民協働課 TEL 6647-9734 FAX 6633-8270

大雨のとき、“被害を少なくするために”

大阪市は、市街地の約9割が平坦な低地で自然排水が困難な浸水しやすい地形となっています。浸水被害を軽減するためには、日ごろの対策が大切です。側溝や排水溝、雨どいにごみや落ち葉、土砂などがたまっていないかなど、ご自宅の周辺を点検しておきましょう。

自助・共助の取り組みを強め
だれもが安全に暮らせて、
災害に強いまちにしよう！



！ 気象情報や避難情報に注意しましょう

警戒レベル4 避難指示 で必ず避難してください！

警戒レベル	新たな避難情報など
5	きんきゅうあんぜんかくほ 緊急安全確保 ※1
警戒レベル4までに必ず避難	
4	ひなんしじ 避難指示 ※2
3	こうれいしゃとう ひなん 高齢者等避難 ※3
2	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)
1	早期注意情報 (気象庁)

警戒レベル5は、すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。警戒レベル5の発令を待ってはいけません！

避難勧告は廃止されました。これからは、警戒レベル4で危険な場所から全員避難しましょう。

避難に時間のかかる高齢者や障がいのある人は、警戒レベル3で危険な場所から避難しましょう。

※1 市町村が災害の情報を確実に把握できるものではないなどの理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。

※2 避難指示は、これまでの避難勧告のタイミングで発令されることになります。

情報の確認方法を事前にチェック

気象情報などの防災情報は、テレビ、ラジオ、防災スピーカー、広報車、緊急速報メールなど、さまざまな方法で皆さんにお知らせします。

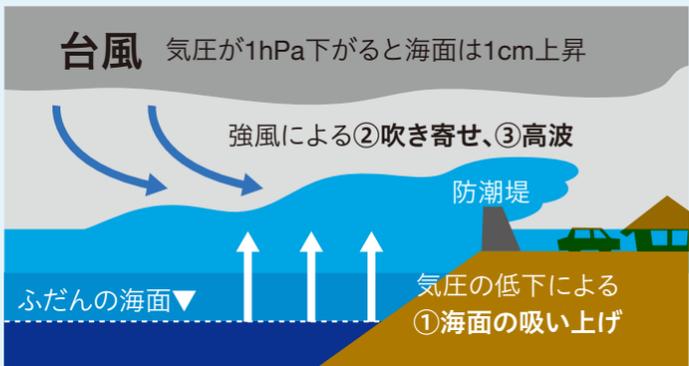
下の二次元コードより各ホームページをお気に入りやブックマークに登録しておくくと便利です。



※3 警戒レベル3は高齢者等以外の人も必要に応じ普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

！ 台風がやってくる時は高潮にも注意が必要です

高潮って？どうして発生するの？



高潮は、台風や発達した低気圧が通過する際に海面がいつもより異常に高くなる現象です。気圧の低下による①海面の吸い上げや、強風で海水が海岸に吹き寄せられる②吹き寄せ、沖から陸に吹く風によって波も高くなる③高波などが要因です。海面の急激な上昇で、海水が堤防や防潮堤を超えて、住宅地が浸水する恐れがあります。

大阪湾に高潮の警戒が高まる台風進路



台風が北上しながら、大阪府の西側を通過するコースは特に警戒が必要です。台風には吹き込む風は反時計回りのため、進行方向に対して右側の地域で強風が吹きやすくなります。

高潮浸水想定区域など、河川の氾濫や津波の被害を想定した浪速区の水害ハザードマップが公開されています



もしもに備えて、今日から身の回りでできること

身の回りの備え

貴重品などを浸水する恐れのない場所に移動したり、家の回りを点検して排水溝が塞がっていないか確認しましょう。防災マップなどで浸水の恐れがある地域、または予想される地域や低い土地に住んでいる方は、土のうなどの準備をしておきましょう。

※浸水の恐れがある地域、予想される地域では、土のうなどを貸し出しています。ご希望の方は津守管路管理センター(TEL)6567-6516へお問い合わせください。

避難先を決めよう！

ハザードマップなどで大雨が降った場合の浸水予想や避難場所、避難経路を複数決めておきましょう。従来のように避難所に多くの方が集中すると、新型コロナウイルスの感染が広がるリスクがあります。自宅避難、親戚・知人宅への避難などもご検討ください。



新たに
スパワールドが
世界の大温泉

津波避難ビルに
指定されました！

→ 12面をご覧ください